

いにしえからの時間に触れる、宇津ノ谷

静岡のまち中から一歩足を踏み入れた場所にある宇津ノ谷。
脈々と流れる時間の中で、豊かな自然と景観が残り、それらを
支える人々の営みが息づいています。

1 宇津ノ谷集落



丸子宿と岡部宿の間に位置し、往来する旅人が休憩した集落で、当時の立場茶屋であったお羽織屋や歴史的なまち並みが残っています。

2 鳶の細道



古代から中世まで利用された道のことで、「宇津の山越え」として、平安時代から江戸時代にかけての歌や物語に頻繁に登場しています。

3 旧東海道



天正年間、豊臣秀吉が小田原征伐の際に作ったと言われ、江戸時代には参勤交代の大名行列も行き交い大正時代まで多くの旅人が往来しました。

4 御羽織屋



この家に立ち寄った豊臣秀吉に主人忠左エ門が馬の香を差し出したといわれます。その返礼として拝領した陣羽織が石川家に大切に保管されています。



5 明治トンネル



明治9(1876)年に開通したものの、火災により不通になり、その後明治37(1904)年に完成した赤レンガのトンネルで、国の登録有形文化財です。宇津ノ谷峠には藤枝市岡部町との間に、明治、大正、昭和、平成の4つのトンネルがあります。

6 慶龍寺



室町時代から伝わる魔除けの「十団子」と延命地蔵で有名。8月23,24日は縁日で賑わいます。